

PRAEVIDENTIA DAILY (6月9日)

昨日までの世界：ZAR/JPYが突出

先週金曜は、注目の米雇用統計の非農業部門雇用者数が+21.7万人とほぼ市場予想通り(+21.5万人)だったことから、主要通貨は結果として小動きに終わった。但し敢えて言えば、ADP民間雇用が+20万人を割り込んだにも拘らず非農業門雇用者数が+20万人を超えたこと、失業率が6.3%へ低下したこと、平均時給の前年比が+2.1%へ加速したことなど、全体としては良好な内容だったためか、発表後ドルは対主要通貨で強含みとなった。ドル/円も発表直後こそ上下に振れたものの、引けにかけては米長期債利回りの小幅上昇と共に102円台半ばへ強含みとなった。とはいえ、2月以降の102円を挟んだレンジ取引を変えるには至らなかった。

他方、新興国通貨は総じて対ドルで大幅上昇しており、例外は中銀が予想外の利下げ(23:00発表、3.50%→3.00%)を行ったメキシコペソだけだった。特に上昇が大きかったのは南アランドで、対ドルで+0.9%、対円では+1%の上昇となり、過去の「NFPが良くても悪くても上がる通貨」としての地位を固めた(下図を参照)。

米雇用統計発表日の主要通貨ペアの前日比変動率(平均値、NY引け値ベース)

	ZAR/JPY	EUR/JPY	NZD/JPY	AUD/JPY	GBP/JPY	CAD/JPY	USD/JPY	EUR/USD	NZD/USD	AUD/USD	GBP/USD	USD/CAD	USD/ZAR
NFP上振れ(13年以降)	+0.84	+0.79	+0.59	+0.64	+0.47	+0.79	+0.84	-0.07	-0.22	-0.21	-0.38	+0.06	+0.03
NFP下振れ(13年以降)	+0.84	+0.21	+0.28	+0.12	+0.23	-0.11	-0.20	+0.40	+0.48	+0.32	+0.44	-0.08	-1.04
上振れ・下振れの平均	+0.84	+0.50	+0.43	+0.38	+0.35	+0.34	+0.32	+0.17	+0.13	+0.06	+0.03	-0.01	-0.51
今回	+1.02	-0.07	+0.09	-0.01	-0.05	+0.01	+0.07	-0.12	+0.02	-0.07	-0.11	+0.05	-0.93
<13年以降の全標本中>													
平均	+0.85	+0.52	+0.44	+0.40	+0.35	+0.39	+0.39	+0.11	+0.07	+0.00	-0.05	+0.01	-0.44
中央値	+0.91	+0.48	+0.30	+0.25	+0.41	+0.54	+0.41	+0.22	+0.39	-0.04	-0.12	-0.06	-0.67
最大	+2.51	+1.74	+1.88	+1.79	+1.89	+1.34	+1.28	+0.73	+1.46	+1.07	+1.15	+0.93	+1.66
最低	-1.05	-0.74	-1.26	-0.84	-0.75	-1.08	-1.00	-0.78	-1.66	-1.04	-1.21	-0.95	-2.16
上昇回数(18回中)	13	12	13	12	12	12	12	11	12	9	8	8	5

(注)各項目で上位3通貨を黄色、下位3通貨を青色で表示。

(出所)プレビデンティア・ストラテジー作成

主要通貨ペアの前営業日比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化

ドル/円	変化率	米2年金利差	米2年金利	日2年金利	米日10年金利差	米10年金利	日10年金利	米株価	日株価	原油WTI	原油Brent
	+0.1	+0.02	+0.02	-0.00	+0.02	+0.00	-0.02	+0.5	-0.0	+0.2	-0.2
ユーロ/ドル	変化率	独米2年金利差	独2年金利	米2年金利	独米10年金利差	独10年金利	米10年金利	欧株価	米株価	原油Brent	西伊の対独格差
	-0.1	-0.01	+0.01	+0.02	-0.06	-0.05	+0.00	+0.9	+0.5	-0.2	-0.13
ポンド/ドル	変化率	英米2年金利差	英2年金利	米2年金利	英米10年金利差	英10年金利	米10年金利	英株価	米株価		
	-0.1	-0.03	-0.01	+0.02	-0.03	-0.02	+0.00	+0.7	+0.5		
豪ドル/米ドル	変化率	豪米2年金利差	豪2年金利	米2年金利	豪米10年金利差	豪10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB	
	-0.1	-0.01	+0.01	+0.02	-0.01	-0.00	+0.00	+0.5	-0.5	+0.3	
NZドル/米ドル	変化率	NZ-米2年金利差	NZ2年金利	米2年金利	NZ-米10年金利差	NZ10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB	
	+0.0	-0.02	+0.00	+0.02	+0.00	+0.01	+0.00	+0.5	-0.5	+0.3	
米ドル/加ドル	変化率	米加2年金利差	米2年金利	加2年金利	米加10年金利差	米10年金利	加10年金利	米株価	原油WTI	CRB	
	+0.1	+0.02	+0.02	+0.00	+0.02	+0.00	-0.01	+0.5	+0.2	+0.3	

(注)為替相場、株価および商品価格は前営業日比変化率、金利は前営業日比変化幅(%ポイント)。

主要通貨ペアの前週比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化(先週1週間)

	変化率	米日2年金利差	米2年金利	日2年金利	米日10年金利差	米10年金利	日10年金利	米株価	日株価	原油WTI	原油Brent
ドル/円	+0.7	+0.03	+0.03	-0.00	+0.09	+0.11	+0.02	+1.3	+3.0	-0.0	-0.7
	変化率	独米2年金利差	独2年金利	米2年金利	独米10年金利差	独10年金利	米10年金利	欧株価	米株価	原油Brent	西伊の対独格差
ユーロ/ドル	+0.1	-0.03	-0.01	+0.03	-0.12	-0.01	+0.11	+1.5	+1.3	-0.7	-0.20
	変化率	豪米2年金利差	豪2年金利	米2年金利	豪米10年金利差	豪10年金利	米10年金利	世界株価	米株価	中国株価	CRB
豪ドル/米ドル	+0.2	+0.04	+0.06	+0.03	+0.01	+0.12	+0.11	+1.2	+1.3	-0.5	-0.1
	変化率	NZ-米2年金利差	NZ2年金利	米2年金利	NZ-米10年金利差	NZ10年金利	米10年金利	世界株価	米株価	中国株価	CRB
NZドル/米ドル	+0.0	-0.01	+0.02	+0.03	+0.00	+0.11	+0.11	+1.2	+1.3	-0.5	-0.1
	変化率	英米2年金利差	英2年金利	米2年金利	英米10年金利差	英10年金利	米10年金利	英株価	米株価		
ポンド/ドル	+0.3	-0.02	+0.01	+0.03	-0.03	+0.09	+0.11	+0.2	+1.3		
	変化率	米加2年金利差	米2年金利	加2年金利	米加10年金利差	米10年金利	加10年金利	世界株価	米株価	原油WTI	CRB
米ドル/加ドル	+0.8	+0.01	+0.03	+0.01	+0.04	+0.11	+0.07	+1.2	+1.3	-0.0	-0.1

(注) 為替相場、株価および商品価格は前週比変化率、金利は前週比変化幅(%ポイント)。

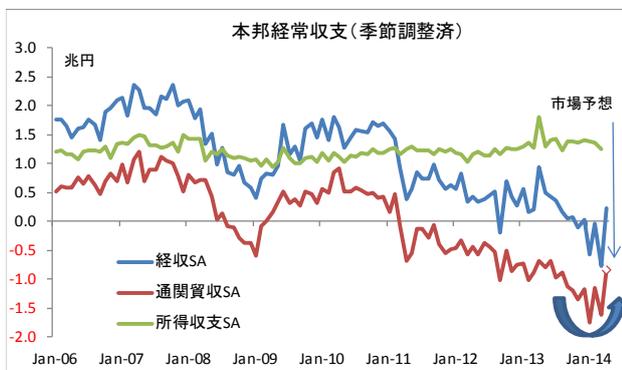
きょうの高慢な偏見：対外赤字、終わりの始まり？

きょうの注目通貨：USD/JPY ↓

きょうの指標、イベント	時刻	前期	市場予想	備考
豪州休場				
本邦4月経常収支・季節調整前	8:50	+1164億円	+2877億円	
同・季節調整後		-7829億円	+2328億円	
本邦1QGDP前期比年率・改定値	8:50	+5.9%	+5.6%	
Stevens・RBA総裁発言	16:00			
カナダ5月住宅着工件数	21:15	19.53万件	18.50万件	
Bullardセントルイス連銀総裁発言	22:10			ややタカ派、投票権なし
Tarullo・FRB理事発言	1:45			中立、投票権あり
Rosengrenボストン連銀総裁発言	2:30			ややハト派、投票権なし

(出所) プレビデンティア・ストラテジー作成

本日は非常に材料が少なく、基本的に小動きとみられるが、中では本邦4月経常収支に注目したい。既に4月分通関貿易収支が発表されており、季節調整済みベースで経常赤字が縮小する方向性にあるのはサプライズではない。とはいえ、3月までの消費増税前の駆け込み(輸入)需要が一服しており4月分は輸入減少が著しい。輸出についても、なかなか増加してこなかったが、既に安倍政権発足後1年半程度経っており、ほぼ同時に始まった円安がそろそろ輸出増加に繋がってもいい頃だ。このため、今回4月分の経常収支で赤字縮小が確認されると、今後の更なる赤字縮小期待が高まり円高化する可能性がある。ドル/円はレンジ内ながら、再び102円台前半へ反落に向かうだろう。



ディスクレイマー

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、全てお客様ご自身でご判断下さいますようお願い申し上げます。

当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。

当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。当資料は購読者向けに送付されたものであり、購読者以外への転送を禁じます。

プレビデンティア・ストラテジー株式会社
金融商品取引業者（投資助言・代理業）関東財務局長（金商）第 2733 号
一般社団法人 日本投資顧問業協会 会員番号 012-02641